

令和6年
7月29日より

議会の新構成

(◎委員長 ○副委員長)

議長：酒井 圭治

副議長：川崎 直文

議会選出監査委員：清水 紀人

町議会

議会運営委員会

令和6年8月1日より

◎長岡千恵子 ○楠 圭介 清水 紀人
森山 充 滝波登喜男 齋藤 則男
上田 誠

総務産業建設 常任委員会

令和6年8月1日より

◎森山 充 ○清水 憲一 中村勘太郎
川崎 直文 朝井征一郎 滝波登喜男
酒井 圭治

教育民生 常任委員会

令和6年8月1日より

◎上田 誠 ○楠 圭介 長岡千恵子
清水 紀人 金元 直栄 齋藤 則男
松川 正樹

予算決算 常任委員会

令和6年8月1日より

◎長岡千恵子 ○清水 紀人 (他 全議員)

議会・行財政改革 特別委員会

◎楠 圭介 ○滝波登喜男 (他 全議員)

議会広報 特別委員会

◎川崎 直文 ○清水 紀人 中村勘太郎
長岡千恵子 森山 充 楠 圭介

組合議会

五領川公共下水道事務組合議会 中村勘太郎 長岡千恵子 金元 直栄 森山 充

福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 川崎 直文 清水 憲一 楠 圭介 酒井 圭治

勝山・永平寺衛生管理組合議会 齋藤 則男 上田 誠 松川 正樹

福井県後期高齢者医療広域連合議会 酒井 圭治



議長・副議長就任ごあいさつ



副議長 川崎 直文

人口減少、少子高齢化、担い手不足への対策、地方創生の取り組み、防災・減災の対策等に、より一層注力しなければなりません。課題解決の提案する議会が求められます。永平寺町議会基本条例にある政策立案、政策提案、政策提言の実行です。

課題解決の提案

現在、永平寺町の抱える行政課題は人口減少・少子高齢対策、デジタル化による社会システム、防災減災対策、公共交通対策など、様々な諸問題が山積しており喫緊の課題となっております。今後は活発な議会全体の運営を目指しながら、多くの課題に挑戦、実践していく、町民皆様の負託に応えられるよう、福祉向上と、町政発展のために誠心誠意努めて参りたいと考えております。今後も永平寺町議会に対し、更なるご支援をお願い致しまして議長就任の挨拶とさせていただきます。



議長 酒井 圭治

町民の皆様におかれましては、日頃より永平寺町議会に対し、温かいご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。この度、8月の臨時会において多数議員の信任をいただき議長に就くこととなりました。

各委員長ごあいさつ

議会・行財政改革特別委員会



楠 圭介

住民の皆様は、議員を変えても議会の仕組みは変わりません。議員自身が時代性を考慮し、あるべき姿に変えていかなければなりません。それも議員としての大事な仕事であり、これからの見据え問題提起をしていきます。

教育民生常任委員会



上田 誠

少子高齢化社会の現状の中、皆様の生活や暮らしに直接関係する健康と医療介護の分野。また、若い世代の子育てと教育の分野。さらに文化体育と社会教育と多岐にわたる分野を担当します。全委員で一生懸命取り組みさせていただきます。

議会運営委員会



長岡千恵子

議会運営委員会委員長を拝命しました。議会運営を決定する委員会です。慎重かつ十分な審議ができ、流れが滞ることのない議会となるように配慮します。早め日程調整を行い効率の良い議会にしていきたいです。

議会広報特別委員会



川崎 直文

議会の活動をお伝えし、町民の皆さんのコミュニケーションを図るのが議会だよりです。委員会では読んでいただける議会だよりへの工夫を重ね企画し、制作、発行していきます。議会だよりへの皆様のご意見提言をいただき、読みたくなる議会だより「みての」を目指します。

予算決算常任委員会



長岡千恵子

予算は本会議で審議しているもので、当委員会での扱いは決算審議のみとなります。決算ですから、可決された予算の執行状況、予算執行後の成果、町民への効果等について慎重に審議していきます。

総務産業建設常任委員会



森山 充

農村地域に住居している私自身の思考や発言に偏りがあるかもしれませんが、幅広い背景や意見を持った各委員の意見を巧くまとめ上げ、町政の発展に貢献出来るよう努めていきます。

学校給食将来展望

先進地視察に行ってきました！

視察①

視察②



視察① センター方式から自校式給食に転換（新潟県五泉市）

自校式で改善されたこと

- ・できたての給食を提供
- ・地産地消の推進
- ・地産地消で生産者・JAなど地域との連携
- ・調理員と触れ合い食育の推進
- ・学校ごとの行事に対応可能
- ・民間委託による人材確保

新たな課題

- ・調理施設、備品の修理、管理に費用増大
- ・食材が分割購入のためコストが高くなる



永平寺町の

学校給食課題は…

調理員等の
人材不足

食育の推進

施設・備品等の
老朽化

農産物の
地産地消

視察② 給食センターを新築して給食提供（越前町、あわら市、坂井市三国町）

給食センターで改善されたこと

- （越前町）
 - ・最新の厨房機器・設備・地場産物を活用
 - ・地場産物を活用した食育メニューの推進
 - ・民間委託による人材確保
- （あわら市）
 - ・地産地消で大量購入のためコストが削減
 - ・配膳や片付けて社交性や正しい食習慣
 - ・食べ残しの減量など食育指導
- （坂井市三国町）
 - ・新しい施設整備で事故防止
 - ・大量一括購入で食材費の抑制
 - ・民間委託による人材確保

新たな課題

- （あわら市）
 - ・給食施設がオール電化のため電気料が高騰
 - ・備品の中に特注で高価なものがあるため修繕費が増大
- （坂井市三国町）
 - ・学校行事に合わせた給食が提供できない



公共交通、観光・インバウンドにスポットを当てる

総産建 務業設
常任委員会

9月17日に実施した委員会内容は以下のとおりです。

- 1 委員会付託案件
再審法の改正を求める意見書提出を請願されたが不採択とした。
- 2 年間テーマ設定
公共交通問題
観光・インバウンド
の2点を設定した。
- 3 事務事業検証について
10月末までに聞き取りを進め、11月中旬に提言をまとめる予定を確認した。
- 4 委員会行政視察について
11月20日から21日に富山県小矢部市、富山市および黒部市を訪問することを決めた。

議会の視点



再審法の改正の件は、委員会では不採択であったが、本会議で趣旨採択となった。

子どもの遊び場整備事業のコンセプトは

教民 育生
常任委員会

- 1 天候にかかわらず安全安心に専ら遊ぶ場
町が示した遊び場整備事業候補地(松岡公園頂上広場)に対する意見には
①子育て家庭のため天候にかかわらず安全安心の遊び場
②子どもの心身の健やかな成長に配慮した施設を具した
- 2 委員会所轄課より説明
①町社会福祉協議会への支援・委託事業 ②禅の里温泉の状況と方向性
③部活動の地域移行の進捗と今後 ④コロナ後の地域の行事・活動
⑤国保料金統一の日程 ⑥町内小中の制服・体操服の現状
- 3 委員会付託案件
請願「訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める」を審議し社会状況を鑑み全員一致にて採択
- 4 事務事業の調査(進捗状況と中間まとめ)
①文化振興事業 ②健康づくり事業
進捗状況と次年度予算反映に向けた意見を確認
- 5 年間テーマ(方向性と日程)
①町の福祉行政(町社協も含) ②給食・幼保の現状
③地域の担い手不足
方向性(目的と成果)と全体スケジュールの確認

議会の視点



子ども達や保護者のニーズに合わせた施設にするために、先進地を視察して、より安全安心を探究していく。

議員全員に問う!

学校給食は
何に力点をおく?

食は学び(食法)

生かされる感謝を!いただきます。
中村勘太郎議員

食は一生

食は生涯継続。食育は人生を左右する。
長岡千恵子議員

衛生管理、作業環境

HACCPに沿った衛生管理の徹底と設備・施設の更新等で作業環境の改善。
川崎直文議員

美味しさ安定運営

安心安全が求められる給食づくりが無理なく運営できていけるか。
清水紀人議員

地産地消から

学校は子らの心よりどころ、それを支える学校給食、調理員さんの姿。
金元直栄議員

安全性が第一

口に入る物だから、衛生管理やアレルギー対応できる調理環境が必要。
森山 充議員

安全な給食の提供

何をおいても食の安全が第一。そのリスクを最小にする施設を求める。
清水憲一議員

感謝の心を

安全・安心はもちろん、作る人・食材など全てのものに感謝する心。
滝波登喜男議員

食の大切さを伝える

「食」に関心を持ち主体的に考え食事マナー、栄養のバランス、食文化などを学び、豊かな多様性に富んだ魅力ある給食の提供。
齋藤則男議員

正しい“食”育

“食”は生きる上で生涯必要。その正しい食事の取り方(食育)は生命や健康更に知識の“源”となるものだから。
上田 誠議員

調理師の確保

そのためには待遇改善とリスクが不可欠。
松川正樹議員

持続可能な体制

人口減少社会を前提に無償化を持続でき、人員不足解消に繋がる体制を。
楠 圭介議員

安全な食材

給食調理の様々な制約の中で地域を感じる献立。
酒井圭治議員

インタビュー!
interview!!

竹内 康高 教育長



Q 学生時代の学校給食で印象に残る出来事は

A くじらの竜田揚げが好物でした。他に瓶入りの牛乳が好きで、なぜか紙の蓋をたくさん集めていました。今では楽しい思い出ばかりです。

Q 給食のメニューで好物、苦手な物は

A コッペパンが好きで、マーガリンやジャム、チョコレート塗って食べるのがとてもおいしかったです。揚げパンも大好物でした。ただブドウパンの干しぶどうが苦手で、干しぶどうを残すことはせず時間をかけて食べました。

Q 学校給食はこうあってほしいという願いは

A おいしくて、安全安心な給食の提供をお願いしたい。子ども達にとって給食の時間は楽しい時間です。

町民の皆様にご覧いただけるよう、より良い議会だよりを目指しています!

永平寺町議会だより

創刊号
平成18年
4月21日
発行

創刊号発刊時
広報委員会副委員長
松川議員に聞いてみた



Q 当時はどのようなことを心掛けて制作していたか。思い出など。

A 新永平寺町の統合から、もう20年と感慨もひとしおで、改めて襟を正すものだが、町村合併は困難の道に違なく、一途に希望の道に変えたしと願っていた。その願いを「議会だより」からも発したかった。だから我々の気持ちをたくさん情報として届けようとした。議会で何を語り、何を理想としたかが肝心で、特に予算審議と一般質問の詳しい内容のお知らせに力を注いだ。結果、文章の量は膨大となったが、宝物を残したと自負している。

Q これからの議会だよりは、どのようにあるべきか。足りないことは。

A 紙面の情報量が多くなると、手に取ってもらえなくなると不安になるが、悪貨が良貨を駆逐するという説もある。だから常に読者の反応を意識することが必須となる。アトランダムでもいいから生の声を聴くべし。合わせてプロの眼も意識しなければと忙しい。でも基本は本人の教養だ。ありとあらゆる角度から物を考えて何を持って理想の「議会だより」かを求めていただきたい。宝物は一つではない。議会だよりは生きがいを懸けるだけの価値がある。

愛読者インタビュー



清水健太郎さん
東古市

学校のICT教育。学校で支給されているタブレット端末も劣化してきている。今後どうするのか取り上げてほしい。

愛読者インタビュー



山口敦史さん
吉波

議会だより「みでの」75号を読みました。意外と読みやすく、わかりやすかった。私たちの意見、提案を載せていただき、読んでみようと思う「みでの」をお願いします。

愛読者インタビュー



寺前広希さん
松岡上合月

文化財について、保存調査や周知広告、文化財保護や祭りなどの文化振興に対する施策を取り上げてほしい。

愛読者インタビュー



福渡希保さん
松岡葵

視察レポートは興味があります。写真だけでなく、もっと深くどのような内容の視察だったのか知りたいです。参考になった点も気になるところです。

各議員のお勧めの町内観光地や食べ物、遊び場などを紹介してもらいたい。観光資源をどのようにアピールし、集客に繋げるかなどの考えも聞けると嬉しいです。

名称みでの
令和2年
10月16日
発行

臨時号
平成24年
9月7日
発行



寄居町議会だより

全国コンクールの絶対王者
寄居町議会に行ってきました。

読まれない議会だよりに出す意味なし!
～お元気ですか寄居議会です 編集方針～

- ★基本姿勢
日本一クオリティの高い議会だよりを目指し編集する。
- ★町民参加
多くの町民登場を心掛け、予算・決算・重要案件には、必ず議会と町民それぞれの視点を掲載する。
- ★政策サイクル
年間の議会の流れと政策サイクルを意識した編集を心掛ける。また、それをわかりやすく町民に伝える。
- ★優先順位
審議結果だけではなく、審議経過を伝え、町民の関心が高いと思われる議案等に優先順位をつけ掲載する。
- ★言葉で伝える
- ★写真で伝える

寄居町議会広報委員の 皆さんとの談話より

- ・町の広報紙は結果報告、議会だよりは進捗報告。
- ・10～20人の住民インタビューも取れない人が議員であるべきではない。
- ・議員は住民の代表者であり代弁者。
- ・一般質問や賛否討論が議員の晴れ舞台ではない。大切なのは住民との繋がり

議会の視点



寄居町の編集方針にあるように、読まれない議会だよりは出す意味がない。また、読むだけでなく実際に政治に参加してもらえ体制を作っていく必要がある。

埼玉県大里郡寄居町議会
定員16名

名称 お元気ですか寄居議会です
創刊 平成9年5月15日

全国町村議会議長会広報コンクール

- 平成28年度 優良賞(7位)
- 平成29年度 最優秀賞(1位)
- 平成30年度 最優秀賞(1位)
- 令和2年度 最優秀賞(1位)
- 令和3年度 優秀賞(2位)
- 令和4年度 最優秀賞(1位)
- 令和5年度 最優秀賞(1位)

寄居町議会だより
最新号113号表紙



寄居町議会だよりの スゴイところ!!

- ・寄居町内の中学校で、住民自治の見本として議会だよりが使われている。
- ・多くの住民に登場いただいている
- ・読みやすく、新たな切り口で議会や審議内容を伝える特集企画



一般質問



問 今後の学校給食の運営は 答 しっかり意見を聞き進める



【炊飯室】一釜で小学生100人分のご飯を炊くことができ、1日に22釜を炊飯します。



【肉魚類下処理室】フライ物や肉の下味付けをしたり「ホイール焼き」の中身を詰めたりする部屋です。

町長 町の現状と他町の取り組みとを画像で見させていただいて、給食の在り方について、いろいろな面で、いろいろな方々にしっかり意見を聞きながら進めていきたい。

問 永平寺町の各小中学校で基準を満たした自校方式を採用するのは現実的に厳しいのではないかと。視察先の学校は、児童数が191名で給食室の面積が342平米と現在の学校給食衛生管理基準及びHACCPの基準に基づいていた。町内で児童生徒数が多い松岡小学校で154平米、松岡中学校で133平米。ほかの小中学校も現在の給食室の倍以上の施設面積が必要となる。各学校の給食室の増築や別棟の建築が必要となり、費用面でも敷地の面でも、物理的に非常に厳しいと考える。

答 人口減少社会、調理員不足、HACCPの対応、老朽化問題の現状で、給食の在り方については時間もかかる。早急に検討を進めるべき。

清水 紀人 議員

問 町農業基本計画の改定は 答 永平寺町「いちほまれの里」を基本計画へ

町長 「いちほまれの里」の産地づくりを進める。



「永平寺町いちほまれの里推進協議会」の設立

ふくいブランド米推進協議会、福井地区いちほまれ研究会等と連携し、永平寺町「いちほまれの里」の産地づくりを進める。

問 永平寺町農業基本計画は、福井県農業基本計画と整合性を取るため一年延長した。改定の状況とスケジュールは。

答 永平寺町「いちほまれの里」の町農業基本計画での位置付けと推進は。農林課長 町農業基本計画のブランド化の推進、販路拡大、特色ある農業の活性化で位置付ける。

9月3日に、生産者を中心に、JA、県、町で「永平寺町いちほまれの里推進協議会」を立ち上げた。

ふくいブランド米推進協議会、福井地区いちほまれ研究会等と連携し、永平寺町「いちほまれの里」の産地づくりを進める。

川崎 直文 議員

問 中部縦貫自動車道に道の駅を 答 民間投資に任せる

町長 民間投資を呼び込むことが大事と考える。永平寺町で活動している方々を支援する環境を作りたいと考える。



永平寺IC付近から門前に向かう道路

問 永平寺町は嶺北一円の観光にとって中央に位置し、ハブ的役割が担える。永平寺ICから門前に向かう区間を集中的に開発すれば訪れる人が増えると考えます。

答 民間投資を呼び込むことが大事と考える。永平寺町で活動している方々を支援する環境を作りたいと考える。

問 中部縦貫自動車道は当初、令和8年春頃の全線開通予定だったが白紙撤回されたが。

建設課長 橋周辺の地盤が動いていて設計の見直しが必要。情報が入り次第報告する。

問 中部縦貫自動車道の全線開通は新たなまちづくりの核になりうる。NEXCO中国では、高速道路におけるパーキングエリアは約15km間隔ごとに設置している。荒島ICから永平寺ICは20・3kmであり、道の駅「荒島の郷」は荒島ICに併設されており永平寺IC付近に道の駅を設置すべきと考えます。

商工観光課長 道の駅「禅の里」がすでにあり、今のところ新たなには考えていない。

清水 憲一 議員

9月定例会

ここが聞きたい!

一般質問という名の政策提案

10名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

【一般質問：目次】

楠 圭介 12P	清水 紀人 13P	川崎 直文 13P	清水 憲一 13P
金元 直栄 14P	長岡千恵子 14P	上田 誠 14P	齋藤 則男 15P
松川 正樹 15P	滝波登喜男 15P		

9月定例会 一般質問 YouTube にアップ

一般質問の様子を動画で見ることが出来ます。議会の様子や議員の質問内容など、静かに白熱した様子がうかがえます。皆さんの視聴を歓迎いたします。

問 小中学校体育館の冷房設置の検討は 答 設置率100%に向けて準備をしていく

町長 猛暑日や災害時にしか冷房を使わない自治体もあり、電気代などのランニングコストの調査結果を見てから判断したい。毎年学校のプール開放に600万円弱の予算を組んでおり、暑さで解放も限られる中で今後プールがよいのか、空調設備のある快適な施設で遊んでもらうのがいいの、それも空調設備の設置に合わせて教育委員会や保護者の皆さんと今後しっかりと相談して検討していきたい。



体育館のイラスト

問 小中学校体育館の冷房設置は地方と都会で格差が生まれている。設置率は全国平均11・9%(2022年9月時点)で、東京都の82・1%に対し福井県の現状は、そして設置の検討は。

答 冷房設置後は地域活動や子ども達のスポーツ活動などでも使用可能な。また、夏休みのプール開放はこれからも継続するの。

町長 猛暑日や災害時にしか冷房を使わない自治体もあり、電気代などのランニングコストの調査結果を見てから判断したい。毎年学校のプール開放に600万円弱の予算を組んでおり、暑さで解放も限られる中で今後プールがよいのか、空調設備のある快適な施設で遊んでもらうのがいいの、それも空調設備の設置に合わせて教育委員会や保護者の皆さんと今後しっかりと相談して検討していきたい。

楠 圭介 議員

問 職員のサービス態度について

答 改めて体制づくりを確認

齋藤 則男議員



問 町民が、役場（支所）まで出かけ、相談事や、問題点や疑問点を話し合おうと思っても、担当者が不在、上司や課長がいけない等、何度も足を運ばなければならぬことがある。同じ所管課であるなら、そこでの回答や、解決できる態勢は作ってほしい。また、対応者が変わるごとに、要件やその内容を聞かれることがある。最初に聞いた者が担当に趣旨等を伝えられるような体制にしてほしい。

総務課長 業務マニュアルの共有などによって複数名が確実に対応できるように、新たに体制づくりを確認したい。

町長 各課にどういふふうな改善ができるかということを示し、しっかり指導していきたい。

各種団体等に関する補助金等の調査について

問 町が、各種団体等に対し支出している補助金や委託料等、町民の尊い税金である。補助金の使途に対し、所管課として事務指導や会計等の経理についての調査を行っているのか。

会計課長 交付要綱が整備されている。担当課ごとに申請時や実績報告の際に関係書類等の確認、また指導を実施している。

◆その他の質問…コミュニティバスの経路について。

問 河合町政1期目の公約の実現度は

答 引き続き頑張る

松川 正樹議員



問 公民館単位に町民と役場との連携強化の組織は構築されたか。

町長 できたところもあるが、できていないところもある。引き続き頑張る。

問 町長の活動を町民が評価し、給与を決定するとしていた。厳しいが画期的だ。

町長 法律的に難しくできていない。

問 頑張る学生を応援するための奨学金金創設は全く同感で、町長の決断次第だ。

町長 すぐに試算を始めたがものすごい支出で不公平感が心配される。利子補給は実施している。

問 各種委員会の公募枠設置もこれもなかなかいい。

総務課長 いくつか行っているが、公募に向かない委員会も多い。



自動運転

◆その他の質問…自動走行の発展的見直しを。幼稚園の入園式はいずれ取り止めか。社会教育はまちづくりの土台。激甚水害とどう向き合うか。

問 中部縦貫開通で誘客促進を

答 野沢温泉村と連携

滝波 登喜男議員



問 中部縦貫自動車道は長野県松本市と高山市を經由し、福井市とが結ばれる。高山市は、永平寺や東尋坊など福井県との広域連携を模索している。広域連携による誘客対策を示せ。

商工観光課長 高山市や白川村との連携を模索している。また、長野県野沢温泉村と連携を進めている。年間120万人のスキー客が訪れ、特にオーストラリアを中心とした海外客が一定期間滞在する。その一部を永平寺町に送客したいという企画を進めている。

空き家バンク登録促進を

問 町内には空き家が362件あると報告された。空き家問題は全国的な問題で、国も令和5年空き家特措法を改正し取り組みを強化している。特に使える空き家を活用することが重要だ。山口県美祿市では、全ての郵便局に空き家バンク登録相談窓口を設置し、年間100件近い相談が寄せられている。「空き家バンク登録受付中」ののぼり旗を目にして来られている。

えい住支援課長 今春、各区にチラシを配布し、空き家バンク登録数を増やした。昨年10件の登録が、今年は半年で9件の登録になっている。

町長 郵便局との連携ののぼり旗など有効な方法で空き家対策に努めていく。

問 訪問介護事業所は大丈夫か

答 町に調査権限はない

金元 直栄議員



問 先日、訪問介護は全国97自治体で事業所がゼロ。残り1事業所の自治体は277と特集報道があった。NHKも介護事業所の倒産は1.5倍に。原因は報酬の引き下げと報道。町内の訪問介護事業所の経営状況の調査はされているのか。

福祉保健課長 訪問介護報酬は介助内容により20円から90円の減となった。本町の事業所は町内3、町外は15事業所で、現在97名が利用している。報酬減の結果、減収になったと聞いているが調査の権限は町にない。

大規模災害と町の備え

問 能登半島地震の復旧では、対応の遅れが指摘されている。原因は石川県の防災計画の甘すぎる被害想定だ。計画がないのだから対応準備もないということだ。本町は福井地震を経験している。震災復興も含め教訓はまとめられているのか。

町長 道路の確保は大きな教訓で、県は現在計画の策定中だ。避難所や支援助物資置き場の確保も事前にできることは決めておき、速やかに動ける体制を作っておくことが大切だ。



能登半島地震で被災した施設

問 結婚相談の現状と実績は

答 9年間で13組成立

長岡 千恵子議員



問 広報紙に結婚相談のお知らせが掲載。結婚相談の内容と実績は。

福祉保健課長 永平寺町婦人福祉協議会が担う、4月末現在、家庭訪問や電話相談が343件。お見合い実績は9件。登録者は男性38人、女性21人。平成27年度以降9年間で13組の結婚が成立。

問 今年度は9件のお見合い実績だが、成立は。イベントの開催は。

福祉保健課長 今年は未成立。7月14日に四季の森複合施設給天井広間で開催。連絡先の交換をした人はいた。

問 結婚相談の開催会場が、町立図書館2階視聴覚室となっていた。本来の図書館の目的とは異なる。えい坊館に会場を変えてはどうか。

福祉保健課長 町立図書館では登録事務や登録書の確認・相談を中心に開催。図書館での開催理由は、他のイベントと重ならない。他人の目を気にしない。図書館利用者に紛れて結婚相談のイメージがない。などのメリットがあるから。

問 町外の方の参加も多いと聞く。同じ会場で開催できるほうが良いのでは。

町長 えい坊館は新しい形の会議、飲食、イベントができるので関係団体の提案を聞く。



結婚相談会場

◆その他の質問…木下用水の保全管理は。

問 永平寺大好きプロジェクトの創設を

答 育成プログラムとし積極支援を進める

上田 誠議員



問 子どもが主役の教育とは。

教育長 子ども自身が気づいたり、考えたり、判断し行動するかが主体的（主役）の学び。協役は周囲の大人。

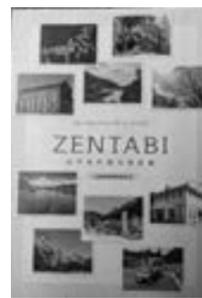
問 地域の未来をつくる人材育成には何が重要か。

教育長 地元（永平寺）を知る↓魅力を感じる↓地域に関わる活動（交流）↓永平寺愛に繋がる。

問 めまぐるしく変化する技術と社会機構（CI/CD・DX）や新たなAIの発展で変わらざるを得ない社会。画一的ではなくより個性豊かで自由な発想、より探求に満ち自らの考えが重視される教育が求められている。その基は自己愛↓自己肯定↓自己確立・自信↓心身の安定・自成長に。自己肯定感が高い↓地域への興味が増す。今後を担う人材育成の永平寺大好きプロジェクト創設を。

教育長 自分の良さの発見↓自己肯定を高め↓困難にも立ち向かう。を持つことを目的とした福井型ポジティブ教育を小1から中3で進めており、ボランティア等、地域に関わる活動（交流と参画）を積極的に進めている。

町長 子どもが主役のプログラムは郷土愛に繋がって支援をしつつ進める。

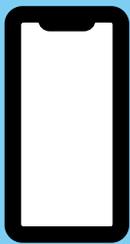
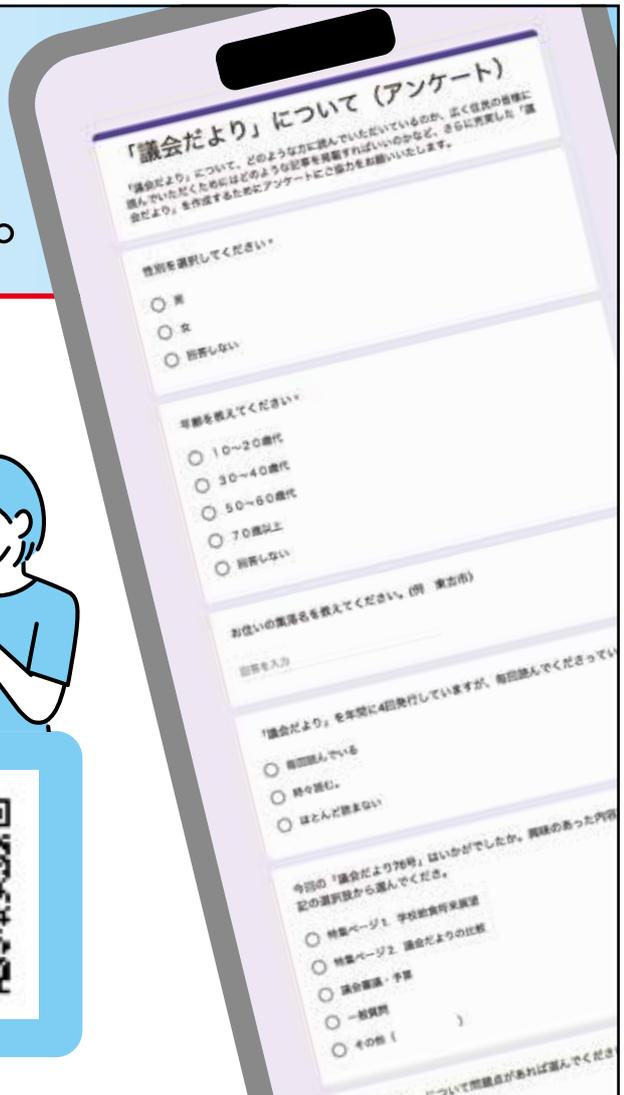


◆その他の質問…勤務時間15分少ない非正規職の退職金回避?!子どもの読書離れの改善策は。

アンケートにご協力をお願いいたします。

「議会だより」について

「議会だより」について、どのような方に読んでいただいているのか、広く住民の皆様にご覧いただくためにはどのような記事を掲載すればいいのかなど、さらに充実した「議会だより」を作成するためにアンケートにご協力をお願いいたします。



アンケートはスマートフォンから、こちらの二次元コードを読み取りお送りください。



9月議会 再放送日程

11月8日(金)～11月15日(金)頃まで毎日放送

毎朝6:00～ 夜24:00～ **約2時間番組**

令和6年9月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、11月8日(金)から11月15日(金)頃まで、毎日朝6時から2時間と24時から2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。



次回定例会は

**12月2日(月)
開催予定**

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。
エレベーターもごさいます。事前申込不要!



議会HP

永平寺町議会だより **みでの** 第76号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会 編集 議会広報特別委員会

議会日程や議事録が閲覧できます。

議会広報特別委員会

委員長 川崎 直文 副委員長 清水 紀人
委員 中村勘太郎 長岡千恵子
森山 充 楠 圭介

発行責任者

議長 酒井 圭治



議会活動レポートHPです。
議会のいろいろな活動が見られます。



6月定例会の一般質問をYouTube動画で見えています。いかがでしょうか。町民のみなさんに「見える」「わかりやすい」議会を目指します。

“みでの”第76号では町民のみなさんからご意見をいただきました。これからもみなさんに参加していただき、読みたくなる議会だよりをつくります。

(川崎 記)